

令和元年 12月4日

## 経済経営学類 4年 栗山達也さんが公認会計士試験に現役合格 の快挙！！

令和元年 11月15日に発表された（公認会計士・監査審査会）公認会計士試験に本学経済経営学類4年生の栗山達也さん（22）が、全国59位の優秀な成績で合格しました。昨年度は卒業後1年で合格した本学類卒業生がおりましたが、在学中の合格は、新制福島大学発足（S24.5）以来初めてだと思われます。

なお、栗山さんは、昨年秋に実施された日本商工会議所（日商）簿記1級に全国最高点で合格し、本年6月に日本商工会議所より表彰を受けております。

公認会計士資格は、会計と監査に関するスペシャリストの難関国家資格です。試験は、短答式試験と論文式試験の2段階に分かれており、短答式試験の合格者が論文式試験を受験することができます。本年の願書提出者は12,532名で論文式試験の最終合格者は1,337名（東北で19名）でした。栗山さんは昨年12月の短答式試験に合格したのち、今年8月に初めて受験した論文式試験に合格しました。

栗山さんは、茨城県の商業高校出身で、更なる専門的知識を身に着けたいと考え本学に進学しました。本学で公認会計士を目指す上級生や、公認会計士協会が主催する「公認会計士制度説明会」において現職公認会計士との交流をきっかけに大学2年生から本格的に公認会計士の受験の意志を固めました。その後、経済経営学類の「会計エキスパート養成プログラム」や学類棟にある「会計プロジェクト学習室」を活用して学習を進めたほか、本学類同窓生でもある福島市の公認会計士高橋宏和氏が主宰する、会計専門家を志す若者の集りである「会計志塾」にも参加しながら、同じ目標を目差す仲間とともに、合格に必要なとされる約5,000時間の勉強に励み、見事に合格を掴み取りました。

卒業後は、大手監査法人への就職が決定しております。

（お問い合わせ先）

経済経営学類支援室

電話：024-548-8353

メール：keizai@adb.fukushima-u.ac.jp